

プログラム

7月7日 (土)

◆開会式 10:00～10:10 (A会場: 2F/3F 大ホール)

◆学会長講演 10:10～10:50 (A会場: 2F/3F 大ホール)
「ヘルスプロモーションにおける学校健康教育の可能性」
西岡 伸紀 (兵庫教育大学大学院学校教育研究科 教授)
座長: 深井 稔博 (深井歯科医院・深井保健科学研究所 院長)

◆特別講演 11:00～12:00 (A会場: 2F/3F 大ホール)
「健康格差対策の進め方: 社会疫学から健康教育学への提案」
近藤 尚己 (東京大学大学院医学系研究科 准教授)
座長: 吉田 亨 (群馬大学大学院保健学研究科 教授)

◆総会 13:10～14:30 (A会場: 2F/3F 大ホール)

◆学会奨励賞講演 14:40～15:10 (A会場: 2F/3F 大ホール)
「生活習慣病予防のためのエビデンスに基づいた健康・栄養教育に関する研究」
小澤 啓子 (女子栄養大学短期大学部 准教授)
座長: 高橋 浩之 (千葉大学教育学部 教授)

◆一般発表 (口演およびラウンドテーブル) 14:40～17:20 各会場

◆シンポジウム I 15:20～17:20 (A会場: 2F/3F 大ホール)
「健康教育, ヘルスプロモーションの評価から得られること」
座長: 西岡 伸紀 (兵庫教育大学大学院学校教育研究科 教授)
中村 正和 (公益社団法人地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター
センター長)
健康教育・ヘルスプロモーションの考えを取り入れた学校における食育の評価
中西 明美 (女子栄養大学栄養学部 准教授, 栄養教育研究会委員長)
身体活動促進のためのポピュレーションアプローチ「ふじさわプラス・テン」の取り組み
齋藤 義信 (慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 助教)
自治体におけるたばこ対策の評価
ー 変型 RE-AIM モデル (PAIREM) の枠組みを用いた先進事例の分析ー
道林 千賀子 (岐阜医療科学大学保健科学部看護学科 講師)

◆一般発表 (ポスター発表) 17:30～18:20 (P会場: 2F 展示室)

◆懇親会 18:45～20:45

会場: 姫路モノリス

〒670-0015 姫路市総社本町 115 Tel 079-286-5858

7月8日(日)

◆シンポジウムⅡ 9:00～11:00 (B会場:3F 第2会議室)

「がん患者サバイバーシップへの支援」

座長:春山 康夫(獨協医科大学医学部 准教授・学術委員会委員長)

小熊 祐子(慶應義塾大学大学院 准教授・学術委員会委員)

職域におけるがん治療と就労の両立支援

遠藤 源樹(順天堂大学医学部公衆衛生学講座 准教授)

がんサバイバーの身体活動・運動と健康増進

小熊 祐子(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科・スポーツ医学研究センター 准教授)

がん治療中のサバイバーに対するリハビリテーション

井上 順一郎(神戸大学医学部附属病院リハビリテーション部 理学療法士)

がん患者の治療と就労支援における産業保健師の役割

ー中小企業の現状と課題ー

崎山 紀子(東京医療保健大学千葉看護学部 助教・保健師)

◆一般発表(口演およびラウンドテーブル) 9:00～11:00 各会場

◆教育講演 11:10～12:10 (B会場:3F 第2会議室)

「より良い意思決定の実現に向けて:脳とこころの傾向と対策」

阿部 修士(京都大学こころの未来研究センター 特定准教授)

座長:岸田 恵津(兵庫教育大学大学院学校教育研究科 教授)

◆一般発表(ポスター発表) 12:10～13:00 (P会場:2F 展示室)

◆各種委員会等 13:00～14:00 各会場

◆「若手の会」企画 14:00～14:50 (B会場:3F 第2会議室)

一般演題（口演発表）

7月7日（土）

14：40～15：25（E会場：4F 第6会議室）

座長：町田 大輔（高崎健康福祉大学）

- OR1-1 妊婦の食生活と出生体重との関連
黒川 浩美（公益財団法人 聖バルナバ病院）
- OR1-2 飲食店の定食のポーションサイズの決定要因の質的検討
齋木 美果（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻）
- OR1-3 栄養成分表示の参考・理解による属性および食態度の検討
小松美穂乃（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科）

15：25～16：10（E会場：4F 第6会議室）

座長：林 芙美（女子栄養大学）

- OR1-4 喫食量、満腹感におけるご飯の提供量、食器の大きさの影響
新保 みさ（長野県立大学）
- OR1-5 宅配運輸会社の男性ドライバーの食事と身体活動量の実態把握
上田茉莉子（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科）
- OR1-6 特定保健指導の積極的支援において設定された目標の質的検討
行成由美香（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科）

16：10～17：10（E会場：4F 第6会議室）

座長：戸ヶ里泰典（放送大学）

- OR1-7 がんピアサポーターのためのタナトロジー教育の有用性
大野 裕美（豊橋創造大学）
- OR1-8 日本におけるがん患者のヘルスリテラシー
小林 伶（東京大学大学院学際情報学府）
- OR1-9 血友病患者・家族に対するアウトリーチ機会の創出（第一報）
～患者・家族支援の立場からの研究ニーズの抽出と研究成果の還元を試み
久地井寿哉（社会福祉法人はばたき福祉事業団）
- OR1-10 セルフスティグマは2型糖尿病患者の自己管理行動にどのように影響を及ぼすのか
加藤明日香（東京大学大学院公共健康医学専攻保健社会行動学分野）

7月8日(日)

9:00～10:00 (E会場:4F 第6会議室)

座長:高倉 実(琉球大学)

- OR2-1 三歳児に実施した「たべたのだから？」視力検査
-もう一つの指標にも-
高橋ひとみ(桃山学院大学)
- OR2-2 小学校4年生を対象とした発育に関する指導の評価:肯定的態度の育成を目指して
石井有美子(兵庫教育大学連合学校教育学研究科)
- OR2-3 知的障がい児の家庭における性教育の実態と支援ニーズ
-保護者を対象とした調査を通して-
家坂 玉緒(山形大学附属特別支援学校)
- OR2-4 女子大学生の家庭内における月経および更年期教育の現状と関連要因について
千場 直美(神戸大学大学院保健学研究科)

10:00～11:00 (E会場:4F 第6会議室)

座長:北島 義典(埼玉県立大学)

- OR2-5 中小企業の健康経営における Positive Deviance 事例収集の試み
白田千佳子(全国健康保険協会千葉支部)
- OR2-6 カンボジアにおける女性工場労働者の女性の健康と子宮頸がんに関する健康教育活動の評価 実践報告1
石岡 未和(国立国際医療研究センター 国際医療協力局)
- OR2-7 テレビ番組が「座り過ぎの問題」に関する認知および知識に与える影響
宮脇 梨奈(明治大学 文学部)
- OR2-8 運動介入を伴う健康教育講座が身体的・精神的健康に及ぼす影響
~乳児を育てる成人女性の健康問題を考えながら~
寅嶋 静香(北海道教育大学(岩見沢校))

9:15～9:45 (F会場:5F 第1教室)

座長:小澤 啓子(女子栄養大学短期大学部)

- OR2-9 サッカークラブに所属する小中学生男子とその保護者における食事バランスに対する意識についての検討
小澤 智子(筑波大学大学院 人間総合科学研究科)
- OR2-10 食環境をテーマとした学習環境デザインの検討
-中学校における参加型学習プログラムの実践-
梅木 彰子(国際医療福祉大学)

9:45～10:30 (F会場:5F 第1教室)

座長:新保 みさ(長野県立大学)

- OR2-11 近年の中高生のプロポーション変化と関連要因の検討
内山 有子(東洋大学、女子栄養大学)
- OR2-12 中高生のスマートフォン夜間使用と睡眠時間および体重変動との関連
小林 正子(女子栄養大学)
- OR2-13 女子学生の食に関する知識が食事調節および体型認識に及ぼす影響
秋山 佳代(人間総合科学大学)

一般演題（ポスター発表）

7月7日（土）

17:30～18:20（P会場：2F 展示室）

【学術報告】

- P1-1 実施者が評価する子ども食堂の効果：自由記述を用いた質的研究
町田 大輔（高崎健康福祉大学健康福祉学部、群馬大学大学院保健学研究科）
- P1-2 学校給食の残食量にかかわる要因の検討
脇本 景子（武庫川女子大学）
- P1-3 大学生アスリートの食生活のセルフエフィカシーの特徴
佐藤 愛（園田学園女子大学、立命館大学スポーツ健康科学研究科）
- P1-4 看護系大学生における食習慣及び食事内容の課題
安部 聡子（昭和大学保健医療学部、昭和大学スポーツ運動科学研究所）
- P1-5 「朝食摂取」に関する要因の検討
－国内データベースを用いたシステマティックレビュー－
小澤 啓子（女子栄養大学短期大学部）
- P1-6 生活のゆとりの有無別にみた主観的健康感と関連する家族との食事のあり方
坂本 達昭（熊本県立大学 環境共生学部 食健康科学科）
- P1-7 栄養教育におけるセルフエフィカシー尺度開発に関する研究動向
藤井 瑞恵（帝京大学スポーツ医科学センター、順天堂大学）
- P1-8 SOC は健康行動と関連するか
加田 大知（富山短期大学）
- P1-9 体操教室に継続参加している地域高齢者の参加理由、食事内容、健康状態について
堀 理佐（新渡戸文化短期大学、相模女子大学大学院）
- P1-10 高齢者が行うポールウォーキングの歩容を観察学習する際に全天球カメラを用いる有効性について
山内 賢（慶應義塾大学体育研究所）
- P1-11 大学生の健康に関連する精神的体力の構成概念と測定
水野 哲也（東京医科歯科大学）
- P1-12 首尾一貫感覚の高さが健康行動に与える影響
高木 尚紘（富山短期大学）
- P1-13 首都圏在住中高年者における主観的健康感と個人レベルのソーシャル・キャピタルの関連
－共分散構造分析による検討－
遠藤 寛子（帝京大学医療技術学部）
- P1-14 女子大学生の健康知識とヘルスリテラシーが生活習慣に及ぼす影響
吉田 遊子（九州栄養福祉大学）
- P1-15 日本語版デジタル・ヘルスリテラシー尺度の信頼性と妥当性の検討
瀬戸山陽子（東京医科大学医学部看護学科）
- P1-16 Needs for health-and-hygiene education in rural Indonesia: Identifying the people who are most likely to benefit
朴 敏廷（建陽大学校看護大学看護学科、東京大学大学院医学系研究科、School of Medicine, Griffith University）
- P1-17 大型団地における住民主体の健康なまちづくり
－第3報：5年間の評価 認知度別の健康度の比較－
北畠 義典（埼玉県立大学）

- P1-18 健康教育を再考する事例研究1；どこまでが健康教育か？
守山 正樹（日本赤十字九州国際看護大学）
- P1-19 看護系大学生の地域診断に関する卒業時の実践能力到達度の文献検討
－今後の保健師基礎教育への一考察－
仲下祐美子（大阪医科大学看護学部）
- P1-20 子どもへのプリパレーションの工夫に関する実態調査
～小児科病棟勤務経験のある看護師への半構造化面接を行って～
欠ノ下郁子（東京工科大学）
- P1-21 慢性疾患患者を対象としたピアサポート活動に参加している者の満足感、負担感の関連要因の検討
米倉 佑貴（聖路加国際大学大学院看護学研究科看護情報学分野）
- P1-22 頸髄損傷者の災害時要援護者名簿登録とピアコミュニケーションとの関連
高橋 競（東京大学高齢社会総合研究機構）
- P1-23 HIV 陽性者男性における sense of coherence の実態と健康・健康行動との関連
戸ヶ里泰典（放送大学）

【実践報告】

- P1-24 小中連携による学校と家庭をつなぐ食育の試み
－東大阪市中学校区での保護者食育講座－
北口 真穂（大阪市立大学）
- P1-25 高校における食行動の実践を目的とした食育の実施
津田みど理（兵庫県北播磨県民局 加東健康福祉事務所）
- P1-26 管理栄養士を目指す学生による朝食摂取プロジェクト
～体験型イベント実施者としての気づきから今後の改善点を探る～
山内美智子（南九州大学）
- P1-27 某製造事業所における食生活改善教育の実践
山下 奈々（リコー三愛グループ健康推進事業部）
- P1-28 中学校部活動において適切な水分補給を行うための試み
～体験型学習の実現可能性の検討～
杉尾 直子（南九州大学）
- P1-29 病院での地域在住中高年者を対象とした運動教室
～大学生主体の運動指導とその効果～
丸山 裕司（東海学園大学）
- P1-30 持続血糖モニターを患者と一緒に考えることからみえてくる生活と心の動き
井上 朱實（ぼらんのひろば井上診療所）
- P1-31 Japanese Medical Support Network (JAMSNET) の役割と Global Health への貢献
Keiko Sakagami (NYC Department of Health and Mental Hygiene)
- P1-32 新潟県湯沢町ファミリー健康プラン推進活動 15 年の取り組みと効果
－こころの健康づくり対策
清水 洋子（東京女子医科大学看護学部）
- P1-33 Effect of Self-directed Learning on Commitment and Clinical Performance in Simulation Education
朴 敏廷（建陽大学校看護大学看護学科、東京大学大学院医学系研究科）

7月8日(日)

12:10～13:00 (P会場:2F 展示室)

【学術報告】

- P2-1 新潟県 A 地区公立小中学の学校教育ビジョンにみる健康・食に関わる事項の取り扱いについて
細田 耕平 (仁愛大学)
- P2-2 特別支援学校における食育の現状と課題
～栄養教諭へのインタビューから見えてきたもの～
光藤百合子 (兵庫教育大学大学院)
- P2-3 中学生の食育へのニーズと食生活、健康状態との関連
齋藤 沙織 (帝京平成大学)
- P2-4 高校卒業後の学生の栄養バランス低下に影響する要因
-食習慣の変化と一人暮らしの期間に焦点を当てて
笠巻 純一 (新潟大学)
- P2-5 女子大学生におけるヘルスリテラシーと食選択
荒木 裕子 (九州女子大学家政学部栄養学科)
- P2-6 大学に在籍する看護学生の食行動に対する実態調査
中井 孝一 (香川県立中央病院)
- P2-7 特定健診・特定保健指導における、ライフスタイル教育プログラム開発に関する質的統合法を用いた検討
海老原泰代 (千葉県立保健医療大学)
- P2-8 保育所と幼稚園の運動遊びの取り組みの違いと職員による運動量の主観的評価
鳥袋 桂 (沖縄キリスト教短期大学)
- P2-9 中学生の部活動参加は身体的・精神的健康の改善につながるか? : 縦断研究
喜屋武 享 (琉球大学大学院保健学研究科)
- P2-10 地域における子どものスポーツ活動の運営について マーケティングの視点からみたスポーツ少年団
江向真理子 (鶴ヶ島市スポーツ少年団)
- P2-11 各都道府県教育委員会の資料からみるわが国の運動部活動における体罰問題解決に向けた一考察
霜触 智紀 (新潟大学大学院)
- P2-12 社会経済的状况と子どもの肥満、学力、体力の関連性は、発達段階で異なるのか?
小林 稔 (琉球大学大学院教育学研究科)
- P2-13 文化系シニアボランティアにおける身体活動量の検討: REPRINTS プロジェクトより
根本 裕太 (東京都健康長寿医療センター研究所、早稲田大学)
- P2-14 妊婦と夫の胎児への関わり
具志堅光音 (神戸大学医学部保健学科看護学専攻)
- P2-15 幼児期における生活習慣と保護者の認識との関連
青柳 直子 (茨城大学)
- P2-16 児童・生徒の歯科疾患と居住地域の環境要因との関連
岡本 希 (国立大学法人 兵庫教育大学大学院 学校教育研究科)
- P2-17 小学生を対象とした目標設定スキル尺度改訂版の開発
筆野 元 (兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科)
- P2-18 中学校における心の健康教育の心理社会的効果について
-i-check による評価を通して-
宮城 政也 (琉球大学 教育学部)
- P2-19 ヘルスリテラシーを測定するための意欲、知識、能力の分類と尺度の構造:
日本のヘルスリテラシー尺度に基づく検討
中台 桂林 (新潟大学大学院 現代社会文化研究科)

- P2-20 防護動機理論に基づく中学生の地震予防行動に関わる要因の検討
山田 浩平（愛知教育大学）
- P2-21 学校力は高校生の性行動における社会格差を緩衝するか？
高倉 実（琉球大学医学部）
- P2-22 高齢者が健康に関する知識を身に付けた契機とその情報源：「新老人の会」会員を対象として
高橋 勇太（神奈川県横浜市健康福祉局）
- P2-23 高齢者における健康に関する情報源の利用意向と信頼性の確認の実施状況：
「新老人の会」会員を対象として
中山 和弘（聖路加国際大学大学院看護情報学分野）

【実践報告】

- P2-24 中学生に対する食事バランスに関する授業の効果
城間 早紀（筑波大学大学院 人間総合科学研究科）
- P2-25 大学生の食育・消費者教育実践力の育成に関する取組の検討
－大学生による大学生のための啓発セミナーを通して－
嶋津 裕子（兵庫大学）
- P2-26 地域在住高齢者に対する「骨粗鬆症予防セミナー」の実施
～セミナーと食事およびカルシウム自己チェック評価による食事改善の効果～
加藤 有美（筑波大学大学院 人間総合科学研究科）
- P2-27 特定保健指導における栄養・運動指導の定期フォローアップの取り組み
～群馬県玉村町と高崎健康福祉大学の連携事業～
田中 繁弥（高崎健康福祉大学）
- P2-28 受験生の身体活動を促進する支援モデルの提案と実践
内藤 隆（明治大学 研究・知財戦略機構）
- P2-29 保健授業における協調学習の効果と課題
宮本 蘭子（茨城大学大学院）
- P2-30 助産師による高校生への性教育実践報告
－公立高等学校1年生へのアンケートの分析結果より－
田中 成子（大阪府助産師会）
- P2-31 アクティブラーニングの視点を取り入れたワークショップの試み
－発達障害に関するカルタ教材作成ワークを通して
鈴木 朋子（大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部 健康栄養学科）
- P2-32 歯科診療において視覚障害者と歯科医療従事者の双方が安心できるガイドブックの開発
松岡奈保子（NPO 法人ウェルビーイング）
- P2-33 農家女性のヘルスプロモーションについて考える
－農産物加工における能動的実践から示唆されるもの－
程塚 京子（国際医療福祉大学）
- P2-34 自治会におけるセルフモニタリングを活用した健康づくり実践
神谷 義人（名桜大学）

一般演題（ラウンドテーブル）

7月7日（土）

RT-1 15:20～16:20（C会場：4F 第3会議室）

米国の Whole School, Whole community, Whole child（WSCC）モデルについて考える

伊藤 武彦（岡山大学）

ファシリテーター：棟方 百熊（岡山大学教育学研究科）

RT-2 16:20～17:20（C会場：4F 第3会議室）

認知に困難な状態の人々と共に生きる家族・学校・社会をつくる健康教育者の役割

鎌田 尚子（足利工業大学）

ファシリテーター：柳田 美子（特定非営利活動法人 日本健康教育士養成機構）

7月8日（日）

RT-3 9:00～10:00（C会場：4F 第3会議室）

参加型学習教材の開発～あいうえお料理～

金森 祐樹（印西総合病院 栄養部）

RT-4 9:00～10:00（D会場：4F 第4会議室）

健康デザインハンドブックができるまで～健康経営企業における職域ヘルスプロモーションのプロセス評価

福田 洋（順天堂大学医学部総合診療科）

RT-5 10:00～11:00（C会場：4F 第3会議室）

市町村国保の特定健診受診者における食塩摂取源の把握：見える塩・見えない塩に着目した分析から地域の対策へ

小岩井 馨（女子栄養大学大学院博士後期課程）

ファシリテーター：林 芙美（女子栄養大学）

RT-6 10:00～11:00（D会場：4F 第4会議室）

スナッキングカード（間食指導カード）による歯科医院での間食の見える化

今津加央里（NPO 法人関西ウェルビーイングクラブ, 文元歯科医院）

ファシリテーター：筒井 昭仁（NPO 法人ウェルビーイング）